



COTTON USA™  
THE COTTON THE WORLD TRUSTS

# 消費者はコットンを好む ー

「グローバルライフスタイルモニター2018」による結果

詳細は、お近くのCCI事務所までお問い合わせください。地域別の事務所リストは[ここをクリックしてください。](#)

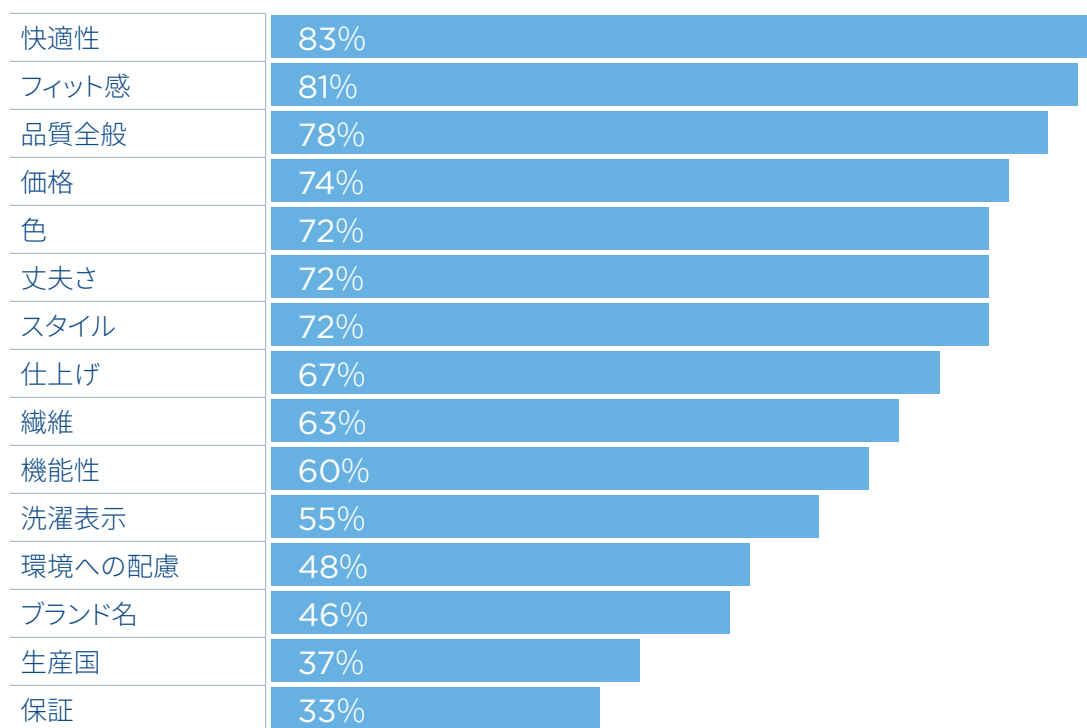
## 消費者はコットンを好む

国際的市場調査機関であるIpsosが隔年実施している「グローバルライフスタイルモニター2018」の調査結果から、衣服に使用されている繊維の種類は消費者の購買決定に大きな影響を与えていることが判りました。具体的には、調査対象となった消費者の86%が衣服のラベルで繊維組成を確認すると回答しています。

この調査は2018年1月～2月に、世界10大消費者市場（中国、コロンビア、ドイツ、インド、イタリア、日本、メキシコ、タイ、トルコ、イギリス）で合計1万人超の消費者を対象に行われました。その中で81%がコットン素材の衣服を好むと回答しています。この調査の結果から、消費者は衣服に使用されている繊維の種類を確認するために時間を割くだけでなく、コットンを探していることがわかりました。この傾向は衣服のカテゴリー別に質問した結果でも同様であり、ジーンズで86%、Tシャツで76%、寝間着で71%、パンツで62%、ドレスシャツで58%がコットン素材を好むと答えています。

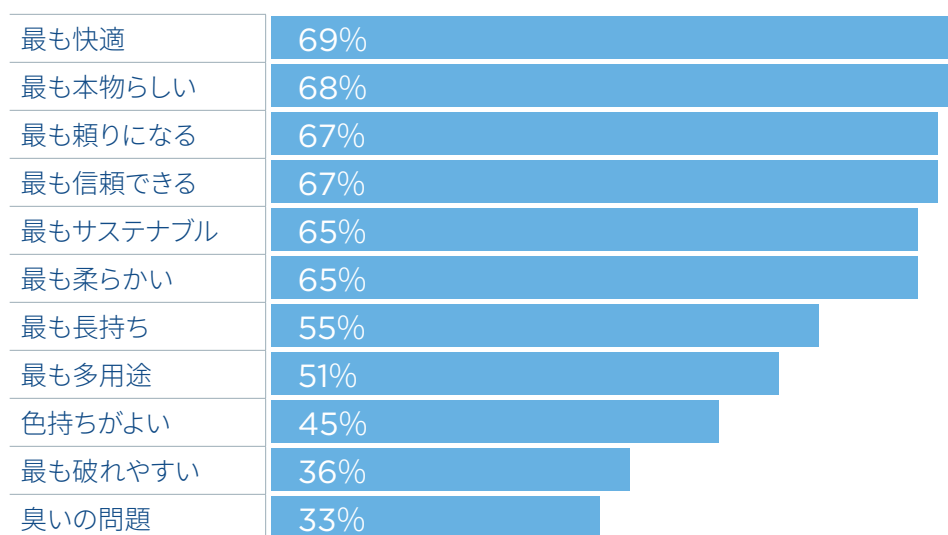
消費者はなぜコットンを好むのでしょうか？ 「グローバルライフスタイルモニター」の結果から、消費者の感じるコットンの特性が、彼らの求める衣服としての性能・特性と合致していることがうかがえます。消費者が衣服を購入する際に最も重視しているのは「快適性」(83%)で、消費者はこの特性を最も強くコットンと結びつけて考えています(69%)。

## 衣服を購入する際、次に挙げるそれぞれの項目をどの程度重視しますか？



## 記載された各特性を最もよく示している／代表しているのは、どのような衣服ですか？

コットンの衣服と回答した人の割合 (%)



## 消費者はコットンを好む

消費者はまた、コットンを最もサステナブルな繊維(65%)であると考えています。環境安全性という具体的な質問に対しても、コットンはやはり「最も安全性が高い」(83%)と認識されています。一方でライクラ/スパンデックス、レーヨン、ポリエステル、ナイロンなどの合成繊維はより環境安全性が低いと認識されています。

**アメリカ綿のサステナビリティについて詳しくはこちらをご覧ください。**

次に挙げる繊維は環境に対してどのくらい安全だと思いますか？

